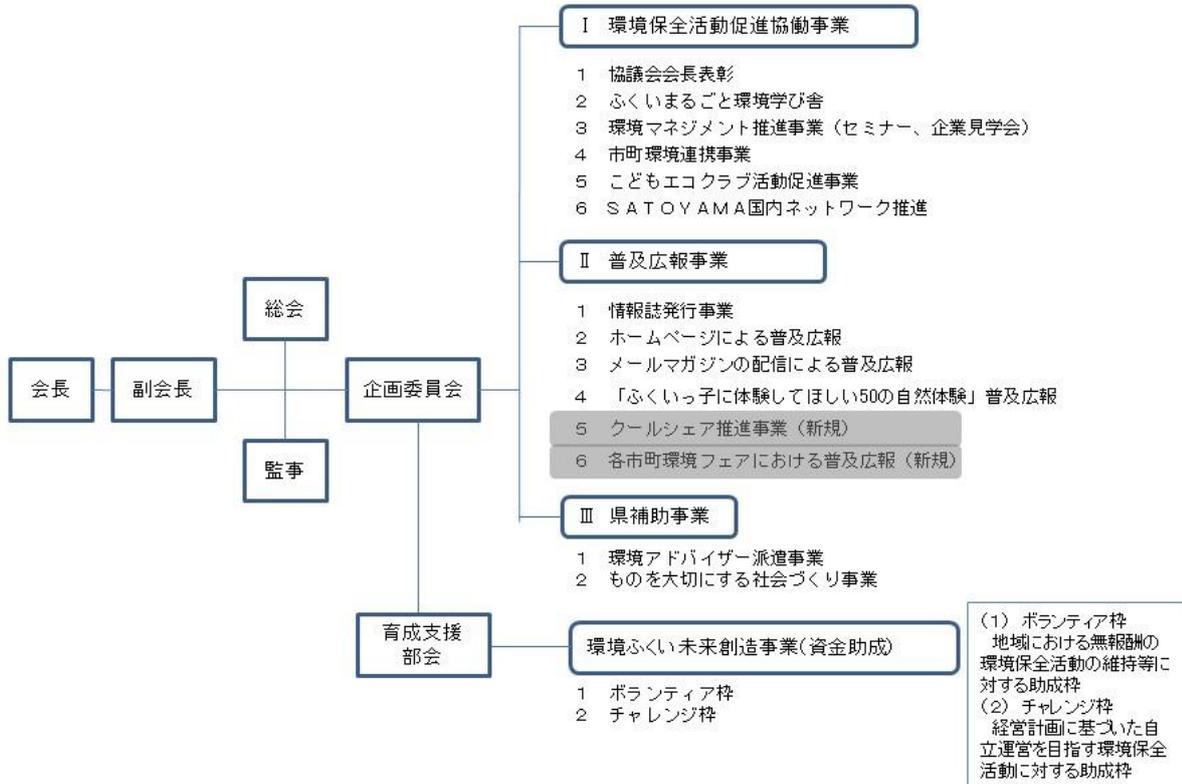


平成29年度 事業計画

環境ふくい推進協議会事業体系図



I 環境保全活動促進協働事業

1 協議会会長表彰

[内容] 環境保全活動のより一層の推進を図るため、地道に環境保全活動に努められた団体等について表彰を行う。

[開催時期] 総会時

2 ふくいまるごと環境学び舎

[内容] 企業、団体、個人等との協働による講演、セミナーや体験活動を開催する。

[開催時期] 通年

3 環境マネジメント推進事業

[内容] 主に事業所の環境管理者等を対象に、先進事例の見学会や基調講演および実践事例発表を実施する。

[開催時期] 10月～2月

4 市町環境連携事業

[内容] 市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対しその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。

助成要件

- 環境保全に貢献する事業または県民の環境意識向上に寄与する事業
- 事業費が5万円超
- 各市町1件の枠

助成額

- 福井市：10万円、その他の市町：5万円/件

5 こどもエコクラブ活動促進事業

[内容] こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。

助成額 壁新聞作成および活動に係る経費の支援 1万円/クラブ 10クラブ

6 SATOYAMA 国内ネットワーク推進

[内容] 本県の里山里海湖における生物多様性の保全や利活用の活動を国内のネットワークを通じて県外へアピールする。

II 普及広報事業

1 情報誌発行事業

[内容] 環境問題や環境教育に関する情報、事業者やボランティア団体等が行う環境保全活動などを紹介する情報誌を発行する。

発行回数 1回

発行部数 3,000部

配布先 協議会会員、小・中・高等学校、図書館、公民館等

2 ホームページによる普及広報

[内容] ホームページやfacebookを活用し、お知らせやイベント情報を積極的に発信していく。

3 メールマガジンの配信による普及広報

[内容] メールマガジンにより、幅広く環境保全活動情報の提供を行う。

4 「ふくいっ子に体験して欲しい50の自然体験」普及広報

[内容] ふくいの子どもたちに体験させたい50の自然体験項目についてのガイドブックを27年度に作成した。当ガイドブックを増刷し、さらなる普及を図る。

発行部数 7,000部

配布先 小学校、環境フェア等

5 クールシェア推進事業【新規】

[内容] クールシェアを周知し、県民に節電に関する意識を高めてもらい、地球温暖化対策となる行動（家庭におけるエアコンの消費電力を抑制）への自発的な取組みへつなげるため、クールシェアスタンプラリーを実施する。

6 各市町環境フェアにおける普及広報【新規】

[内容] 県内で開催される各市町の環境フェアにブース等を出展し、環境について県民に考えてもらう機会を提供する。また、環境ふくい推進協議会の周知を図り、平成30年度の環境フェアへ向けた機運を盛り上げる。

- ・出展予定の各市町環境フェア
福井市、鯖江市、越前市、敦賀市

Ⅲ 県補助事業

1 環境アドバイザー派遣事業

[内容] 事業者、団体、学校、自治会等が開催する研修会へ講師（環境アドバイザー）を派遣する。

2 ものを大切に作る社会づくり事業

[内容] 壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取組みを実施する。

- (1) 古本市、おもちゃの病院、おもちゃドクター養成講座、子育て用品リユース市などの開催
- (2) 自主的なリユース行事を開催する団体の支援

IV 環境ふくい未来創造事業

[内容] 県民・事業者から提供された資金により、『里山里海湖の研究・活用プロジェクト』『地球温暖化対策推進プロジェクト』『ものを大切にする社会づくり強化プロジェクト』『「水を守る」プロジェクト』『環境教育推進プロジェクト』に関連した実践団体へ助成する。

ボランティア枠とチャレンジ枠を設け、チャレンジ枠の助成団体については進捗管理をしながら適宜アドバイスを実施する。

- ・ボランティア枠
(地域における無報酬の環境保全活動の維持等に対する助成)
- ・チャレンジ枠
(経営計画に基づいた自立運営を目指す環境保全活動に対する助成)

V 会議等

下記のとおり会議を開催する。

1 総会

内 容 : 平成 28 年度事業報告および収支決算報告について
平成 29 年度事業計画 (案) および収支予算 (案) について
(総会后、環境活動団体活動報告)

2 企画委員会 (4 回程度開催予定)

3 育成支援部会 (3 回程度開催予定)